

第4次名古屋市環境基本計画の構成（案）

第1章 計画策定にあたって

1-1 計画策定の目的

1-2 計画の基本的事項

- (1) 計画の位置づけ
- (2) 計画の期間
- (3) 計画の対象

1-3 計画策定の背景

(1) 環境・経済・社会の現状と課題

- ①新しい時代にふさわしい豊かな未来を創る！世界に冠たる「NAGOYA」へ
- ②SDGs の理念を実現し、持続可能な未来を切り開く
- ③地域循環共生圏の創出による持続可能な地域づくり
- ④パリ協定を踏まえて加速する気候変動対策 ⑤生物多様性の主流化に向けた取組の強化
- ⑥あらゆる年齢階層に対するあらゆる場・機会を通じた環境教育・環境学習の推進
- ⑦リニア中央新幹線の開業に伴う変化 ⑧産業を取り巻く環境の変化
- ⑨自然災害に対する懸念と生態系の活用

(2) 市民の環境に対する意識

第2章 第3次計画の総括

2-1

環境都市像ごとの成果と課題

4つの環境都市像の
共通基盤

健康安全都市

循環型都市

自然共生都市

低炭素型都市

2-2 第4次計画策定の 考え方

- ①SDGs の考え方の反映
- ②共有できる目指す姿を明示
- ③環境・経済・社会の統合的
向上に資する重点施策の設定
- ④計画の実行性・実効性の確保

第3章 目指す姿とその実現に向けた政策の考え方

3-1 基本理念

3-2 2050 年の環境都市ビジョン

「土・水・緑・風が復活し、あらゆる生命が輝くまち」

3-3 2030 年の目指す姿

「パートナーシップで創る 快適な都市環境と自然が調和したまち」

イメージⅠ

グリーンインフラが支える
住み心地のよいまち

イメージⅡ

温室効果ガス排出量が
大幅に減っているまち

イメージⅢ

グリーンな消費が
循環しているまち

重点プロジェクトⅠ

官民連携プラットフォーム(仮称)
によるグリーンインフラの推進

重点プロジェクトⅡ

重点プロジェクトⅢ

グリーンファイナンスの推進

3-4 政策

政策1

気候変動への
対応

政策2

循環型社会の
形成

政策3

生物多様性の
保全及び持続
可能な利用の
推進

政策4

大気環境、水
環境、土壌環
境、地盤環境
等の保全

政策5

各政策の基盤
となる施策

第4章 政策を推進するための方策

4-1 施策実施の基本姿勢

- ①分野・組織横断的に取り組む
- ②パートナーシップで取り組む
- ③柔軟な発想と手法で取り組む

政策1

施策の方向性

〇温室効果ガス
排出量の削減
〇気候変動の影響
への適応

政策2

施策の方向性

〇リデュース・リユースの推進
〇分別・リサイクルの徹底 など

政策3

施策の方向性

〇生物多様性の
主流化
〇身近な自然の
保全・再生等

政策4

施策の方向性

〇大気環境の
保全
〇水環境の保
全 など

政策5

施策の方向性

〇基盤施策の
推進

第5章 計画の推進に向けて

5-1 計画の推進体制

5-2 進行管理の考え方

資料編